

岩手町・一方井地区教育振興協議会

- 一
テ
ー
マ
一
- 震災を超えて・新たな教育課題への取組
組織の見直し・地域コミュニティ再生の取組
 - PDCAサイクルによる推進の取組
年間を通じた全県共通課題・モデルプログラムの取組
 - 地域ぐるみによる「いわての復興教育」の取組
防災教育・被災地支援交流・地域を担う人材育成の取組

活動の様子



『学校・家庭・地域が一体となって進める家庭学習』

～家庭教育や読書活動に取り組み、自己の向上を図ろう～

1 地域の教育課題

家庭内(保護者含む)で学習環境づくりに欠けている状況があることから、家庭において、親として重点的にかんがねる項目は何か、子ども・家庭・学校が共通認識を持ったうえで取り組む必要がある。

＜課題の裏付けデータ＞

- ・ 家庭学習時間の現状
- ・ 家庭学習環境の現状
- ・ 親として重点的にかんがねることは何か

2 役割分担と年間の計画

○課題解決のためのそれぞれの役割

＜子ども＞

家庭学習計画(学習カードによる宿題・一人勉強・読書の時間内容等)を家族と相談して決め、決めた時間での学習週間を身に付け、振り返りをして改善点を見つける。

＜保護者＞

テレビを消して学習環境を整え、学習の様子を見取り、励ましの言葉をかける。毎日の学習内容・時間を記録する

＜先生＞

家庭学習の標準時間を設定、学習カードを確認し、励ましの言葉をかけ、全員が取り組めるよう、家庭にも声をかける。

＜地域＞

親の迎えの時間まで公民館を活用した宿題学習の場の提供

＜行政＞

子供用の「よりよいくらしのための実践5項目」、親用の「親の心得10か条」を全家庭に配布提供。

○課題解決のための年間の取組

家庭学習ががんばり週間を7・9・11月に設け、家庭学習カードにより実施し、データ分析の実施及び周知。

3 取組の様子

【重点1】

町教育委員会が推奨する「親の心得10か条」から今年度親として重点的にかんがねることをアンケート調査により項目を設定する。

- ① ほめるべきことは大いにほめましょう。
- ② 常に子どもの変化を見守り、話し合いの態度をしつけましょう。
- ③ 叱るときは、理由を明らかにして、はっきり叱りましょう

【重点2】

学習カードにより計画・チェック、まとめを子ども・家族・学校がそれぞれ記入し情報を共有する。その学習カードに記入した家庭学習の結果をデータ分析する。

ポイント①

家族で話し合い、計画を立て、学習の様子をほめたり励ましたりする。

ポイント②

テレビを消して学習環境を整える。

ポイント③

学習時間を記録し、生活リズムを見直す。

【重点3】

地域の協力として、学童保育と公民館で過ごす子ども達に目を向け、放課後時間の過ごし方を工夫して、宿題・読書の場を地域の協力により提供する。

4 課題解決を判断する評価の方法

がんばり週間の振り返りアンケートとして成果を評価する

- ① 子どもが自ら進んで学習に取り組むことができたか。(家庭学習時間) テレビを消して学習することができたか。(家庭学習環境)
- ② 家庭学習中に家族が子どもの良さを見つけることができたか。(家庭の協力)